

【事前評価】 「(仮称)新潟駅の拠点性向上(拠点駅アクセスの向上)(第2期)」の成果概要

計画の概要	計画の成果指標(定量的指標)				
	成果目標	定量的評価指標	現況値	中間値	目標値
◎計画期間： 令和5年度～令和9年度(5年間) ◎計画の目標： ◇ 鉄道で分断されている南北市街地の一体的利用を促進する。 ◇ 公共交通の充実により交通の円滑化を図り、交流・連携を強化する。 ◇ 都市基盤整備を行い都市機能を強化することで、新潟駅の拠点性向上を図る。 ◎総事業費：約75.5億円	① 新潟駅の利便性が向上していると思う市民の割合を 25.9% (R5) から 31.4% (R9) に増加させる。	① 新潟駅の利便性が向上していると思う市民の割合 新潟駅の利便性が以前と比べて向上していると思う市民の割合(%)	25.9%	—	31.4%
	② 乗り換えによる歩行者損失を 21.3億円/年 (R5) から 19.1億円/年 (R9) に減少させる。	② 乗り換えによる歩行者損失 新潟駅における1年あたりの、鉄道とバスの乗り換えによる歩行者損失(億円/年)	21.3億円/年	—	19.1億円/年

